



Better Health, Brighter Future

# 2018年度第2四半期 DATA BOOK

武田薬品工業株式会社(証券コード：4502)

お問い合わせ先 グローバルファイナンスIR

TEL：03-3278-2306

<https://www.takeda.com/jp>

決算データ

<https://www.takeda.com/jp/investors/reports/>

---

## もくじ

---

### I. 業績の状況

1. 地域別売上収益の状況	
◆ 連結売上収益	1
◆ 連結医療用医薬品売上収益	1
◆ 医療用医薬品 グローバル主要品目売上高	3
2. 為替レート	6

### II. パイプラインの現状

1. 開発の状況	7-9
■ がん領域	
■ 消化器系疾患領域	
■ ニューロサイエンス（神経精神疾患）領域	
■ ワクチン	
2. 最近のステージアップ品目	10
3. 開発中止品目	10
4. 外部導出を通じたバリュークリエーション品目（候補品目）	10
5. 共同研究開発活動	12-14
■ がん領域	
■ 消化器系疾患領域	
■ ニューロサイエンス（神経精神疾患）領域	
■ ワクチン	
■ その他／複数の疾患領域	
■ 終了した共同研究開発活動	
■ ホームページで開示している臨床試験情報	

### Appendix

◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）	15
◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高	17
◆ 一般用医薬品 国内主要品目売上高	19

# I. 業績の状況

## 1. 地域別売上収益の状況

### ◆連結売上収益

(億円)

	15年度	16年度	17年度	17年度 Q2 YTD	18年度 Q2 YTD	対前年同期	
売上収益合計	18,074	17,321	17,705	8,814	8,806	△8	△0.1%
日本	6,881	6,553	5,803	2,950	2,742	△207	△7.0%
<売上収益比率>	<38.1%>	<37.8%>	<32.8%>	<33.5%>	<31.1%>	<△2.3pt>	
米国	5,144	5,202	5,983	3,018	3,211	193	6.4%
<同比率>	<28.5%>	<30.0%>	<33.8%>	<34.2%>	<36.5%>	<2.2pt>	
欧州およびカナダ	3,093	2,797	3,137	1,489	1,586	97	6.5%
<同比率>	<17.1%>	<16.1%>	<17.7%>	<16.9%>	<18.0%>	<1.1pt>	
新興国	2,956	2,769	2,781	1,357	1,267	△90	△6.6%
<同比率>	<16.4%>	<16.0%>	<15.7%>	<15.4%>	<14.4%>	<△1.0pt>	
ロシア/CIS	618	575	682	351	275	△76	△21.7%
<同比率>	<3.4%>	<3.3%>	<3.9%>	<4.0%>	<3.1%>	<△0.9pt>	
中南米	684	725	757	361	347	△14	△3.8%
<同比率>	<3.8%>	<4.2%>	<4.3%>	<4.1%>	<3.9%>	<△0.2pt>	
アジア	1,260	1,128	1,040	492	519	27	5.5%
<同比率>	<7.0%>	<6.5%>	<5.9%>	<5.6%>	<5.9%>	<0.3pt>	
その他	394	340	302	153	126	△27	△17.8%
<同比率>	<2.2%>	<2.0%>	<1.7%>	<1.7%>	<1.4%>	<△0.3pt>	
うち知的財産権収益・役務収益	565	601	767	432	249	△183	△42.3%

(注1) 売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

(注2) 「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

### ◆連結医療用医薬品売上収益

(億円)

	15年度	16年度	17年度	17年度 Q2 YTD	18年度 Q2 YTD	対前年同期		実質的な 成長率
医療用医薬品売上収益 合計	16,487	15,689	16,915	8,384	8,481	97	1.2%	5.7%
日本	5,417	5,047	5,014	2,520	2,418	△102	△4.1%	4.1%
米国	5,110	5,167	5,983	3,018	3,211	193	6.4%	9.2%
欧州およびカナダ	3,056	2,760	3,137	1,489	1,586	97	6.5%	4.3%
新興国	2,904	2,715	2,781	1,357	1,267	△91	△6.7%	2.4%
ロシア/CIS	618	575	682	351	275	△76	△21.7%	△15.4%
ロシア	435	419	513	263	207	△56	△21.1%	△13.4%
中南米	682	725	757	361	347	△14	△3.9%	18.4%
ブラジル	381	390	462	219	219	△0	△0.1%	26.3%
アジア	1,212	1,078	1,040	492	519	27	5.5%	10.3%
中国	660	576	496	227	260	33	14.8%	33.4%
その他	392	337	302	153	126	△27	△17.8%	△11.5%
うち知的財産権収益・役務収益	558	595	762	429	246	△182	△42.6%	△0.9%
日本	66	187	313	206	61	△145	△70.4%	△2.1%
海外	493	409	449	223	185	△38	△16.9%	△0.5%
海外医療用医薬品売上収益比率	67.1%	67.8%	70.4%	69.9%	71.5%	1.5pt		

(注1) 売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

(注2) 「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

## ◆連結売上収益（四半期）

（億円）

	17年度				18年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
売上収益合計	4,482	4,332	4,882	4,010	4,498	0.4%	4,308	△0.6%				
日本	1,603	1,347	1,682	1,171	1,443	△10.0%	1,300	△3.5%				
<売上収益比率>	<35.8%>	<31.1%>	<34.5%>	<29.2%>	<32.1%>		<30.2%>					
米国	1,486	1,532	1,613	1,353	1,611	8.4%	1,600	4.4%				
<同比率>	<33.1%>	<35.4%>	<33.0%>	<33.7%>	<35.8%>		<37.1%>					
欧州およびカナダ	736	754	848	800	791	7.5%	795	5.5%				
<同比率>	<16.4%>	<17.4%>	<17.4%>	<19.9%>	<17.6%>		<18.5%>					
新興国	658	699	739	685	654	△0.7%	613	△12.3%				
<同比率>	<14.7%>	<16.1%>	<15.1%>	<17.1%>	<14.5%>		<14.2%>					
ロシア/CIS	170	181	209	123	141	△17.1%	134	△26.1%				
<同比率>	<3.8%>	<4.2%>	<4.3%>	<3.1%>	<3.1%>		<3.1%>					
中南米	170	191	200	196	185	9.2%	162	△15.3%				
<同比率>	<3.8%>	<4.4%>	<4.1%>	<4.9%>	<4.1%>		<3.8%>					
アジア	252	240	281	267	269	6.9%	250	4.1%				
<同比率>	<5.6%>	<5.5%>	<5.8%>	<6.7%>	<6.0%>		<5.8%>					
その他	66	87	49	100	58	△12.1%	68	△22.2%				
<同比率>	<1.5%>	<2.0%>	<1.0%>	<2.5%>	<1.3%>		<1.6%>					
うち知的財産権収益・役務収益	303	128	179	157	130	△57.1%	119	△7.4%				

（注1）売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。（注2）「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

## ◆連結医療用医薬品売上収益（四半期）

（億円）

	17年度				18年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
医療用医薬品売上収益 合計	4,272	4,112	4,674	3,857	4,345	1.7%	4,136	0.6%				
日本	1,393	1,127	1,475	1,019	1,290	△7.4%	1,128	0.1%				
米国	1,486	1,532	1,613	1,353	1,611	8.4%	1,600	4.4%				
欧州およびカナダ	736	754	848	800	791	7.5%	795	5.5%				
新興国	658	699	739	685	654	△0.7%	613	△12.3%				
ロシア/CIS	170	181	209	123	141	△17.1%	134	△26.1%				
ロシア	125	138	163	88	105	△16.3%	103	△25.5%				
中南米	170	191	200	196	185	9.2%	161	△15.5%				
ブラジル	100	120	121	122	118	18.5%	101	△15.6%				
アジア	252	240	281	267	269	6.9%	250	4.1%				
中国	123	103	142	127	140	13.4%	120	16.4%				
その他	66	87	49	100	58	△12.0%	68	△22.2%				
うち知的財産権収益・役務収益	302	127	177	156	129	△57.3%	117	△7.6%				
日本	181	25	37	70	32	△82.3%	29	16.7%				
海外	121	102	140	86	97	△19.8%	89	△13.4%				
海外医療用医薬品売上収益比率	67.4%	72.6%	68.4%	73.6%	70.3%		72.7%					

（注1）売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。（注2）「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

◆医療用医薬品 グローバル主要品目売上高 (注1)

(億円)

		グロスベース		ネットベース					18年度Q2 実質的な成長
		15年度	16年度	17年度	17年度 Q2 YTD	18年度 Q2 YTD	対前年同期		
エンティビオ	米国	631	996	1,336	658	873	216	32.8%	34.7%
	欧州およびカナダ	219	395	602	279	363	84	30.2%	27.7%
	新興国	13	40	75	33	47	14	42.3%	52.0%
	合計	862	1,432	2,014	970	1,284	314	32.4%	33.1%
ベルケイド	米国	1,316	1,129	1,137	602	533	△69	△11.5%	△10.1%
	米国以外	304	247	236	118	116	△2	△2.0%	△0.7%
	合計	1,620	1,376	1,373	720	649	△72	△10.0%	△8.5%
リユープロレリン	日本	538	486	412	208	201	△6	△3.0%	△3.0%
	米国	173	183	197	93	111	18	19.4%	19.7%
	欧州およびカナダ	353	311	345	167	168	1	0.6%	△1.9%
	新興国	180	163	127	62	71	9	14.4%	13.3%
合計	1,244	1,142	1,081	529	551	22	4.1%	3.2%	
アジルバ	日本	590	669	640	314	352	38	12.0%	12.0%
合計	590	669	640	314	352	38	12.0%	12.0%	
パントブラゾール	米国	136	101	72	40	34	△6	△16.0%	△14.9%
	欧州およびカナダ	434	305	306	151	137	△14	△9.1%	△11.5%
	新興国	437	337	280	154	136	△18	△11.9%	△9.1%
	合計	1,008	742	658	345	307	△38	△11.1%	△10.8%
デクスラント	米国	640	497	495	261	256	△5	△1.9%	△0.5%
	欧州およびカナダ	54	57	64	30	35	5	16.7%	17.4%
	新興国	57	73	99	44	59	15	34.1%	43.4%
	合計	751	626	657	334	349	15	4.5%	7.0%
タケキャブ	日本	84	341	485	223	272	49	21.8%	21.8%
合計	84	341	485	223	272	49	22.1%	22.1%	
ネシーナ	日本	369	329	266	135	143	8	6.1%	6.1%
	米国	53	52	60	28	28	△1	△3.1%	△1.8%
	欧州およびカナダ	35	61	90	40	51	11	27.4%	23.4%
	新興国	33	49	86	35	47	11	32.3%	39.6%
合計	489	491	502	239	268	30	12.5%	13.2%	
トリンテリックス	米国	245	319	484	234	271	37	15.8%	17.5%
合計	245	319	484	234	271	37	15.8%	17.5%	
ユーロリック	米国	418	414	458	225	259	34	15.3%	17.2%
	欧州およびカナダ	7	7	8	4	4	0	3.0%	3.8%
	新興国	-	1	3	1	2	0	24.0%	31.2%
	合計	425	422	468	230	265	35	15.1%	17.0%
ミンラーロ	日本	-	-	25	9	21	12	132.7%	132.7%
	米国	40	291	394	191	228	37	19.3%	21.2%
	欧州およびカナダ	-	2	40	15	35	19	126.5%	123.3%
	新興国	0	1	6	2	10	9	-	-
合計	41	294	464	217	294	77	35.3%	38.0%	
コルクリス	米国	465	389	403	199	163	△36	△18.2%	△16.8%
合計	465	389	403	199	163	△36	△18.2%	△16.8%	
アドセトリス	日本	31	33	38	19	22	3	15.0%	15.0%
	欧州	174	175	201	99	108	8	8.3%	5.7%
	新興国	72	93	143	70	81	11	16.1%	34.5%
	合計	276	301	385	190	211	21	10.8%	15.7%
ランソプラゾール	日本 (注2)	413	81	46	25	16	△9	△35.7%	△17.4%
	米国	275	200	152	74	49	△25	△33.3%	△32.3%
	欧州およびカナダ	105	71	72	38	33	△4	△11.8%	△14.2%
	新興国	102	92	97	48	47	△1	△2.4%	△2.8%
合計	895	444	368	185	146	△39	△21.2%	△18.6%	
アミティーザ	米国	372	337	337	174	162	△12	△6.8%	△5.5%
	欧州およびカナダ	1	1	1	0	0	0	4.4%	3.4%
	新興国	-	0	0	0	0	0	68.7%	72.4%
	合計	373	338	338	175	163	△12	△6.8%	△5.4%
アイクルシグ	米国	-	27	204	96	127	30	31.5%	33.7%
	米国以外	-	2	27	12	15	3	22.1%	23.7%
	合計	-	29	231	109	142	33	30.4%	32.6%
Alunbrig	米国	-	-	28	8	22	14	171.6%	174.9%
	合計	-	-	28	8	23	14	175.6%	179.1%

(注1) 知的財産権収益および役務収益を含めて表示。

(注2) 2016年4月に単剤を、2017年5月に配合剤を、テバ社との日本における合併会社に移管。現在は、これら製品の合併会社に対する供給売上を計上。

(注3) 業績予想に関する注意事項については6ページ参照。

➡ ±10%   ➡ +10%~20%   ➡ +20%~30%   ➡ +30%   ➡ -10%~20%   ➡ -20%~30%   ➡ ->30%

(注4) 2018年度より、個別製品売上上のグローバルな管理体系にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上から控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

グロスベース：値引・割戻等の控除前（16年度の国内オンコロジー製品は控除後）

ネットベース：値引・割戻等の控除後

◆医療用医薬品 グローバル主要品目売上高<sup>(注1)</sup> (四半期)

(億円)

		17年度 (ネットベース)			
		Q1	Q2	Q3	Q4
エンティビオ	米国	310	348	348	331
	欧州およびカナダ	135	144	157	166
	新興国	14	19	20	22
	合計	459	511	526	518
ベルケイド	米国	307	295	287	248
	米国以外	55	63	72	46
	合計	362	358	358	294
リュープロレリン	日本	110	97	123	82
	米国	52	41	58	46
	欧州およびカナダ	81	86	88	89
	新興国	30	32	33	32
	合計	273	256	302	249
アジルバ	日本	168	146	190	135
	合計	168	146	190	135
パントプラゾール	米国	19	22	21	12
	欧州およびカナダ	79	72	81	73
	新興国	70	84	48	78
	合計	167	178	150	163
デクスラント	米国	128	133	141	93
	欧州およびカナダ	14	16	18	16
	新興国	21	23	28	27
	合計	163	171	187	137
タケキャブ	日本	113	110	151	110
	合計	113	110	151	110
ネシーナ	日本	73	62	80	51
	米国	12	16	19	12
	欧州およびカナダ	20	20	25	26
	新興国	14	21	22	29
	合計	119	119	146	118
トリンテリックス	米国	112	122	141	108
	合計	112	122	141	108
ユーロリック	米国	112	113	117	116
	欧州およびカナダ	2	2	2	2
	新興国	1	1	1	1
	合計	114	116	120	118
ニンラーロ	日本	2	6	9	7
	米国	90	101	107	96
	欧州およびカナダ	6	9	11	13
	新興国	1	1	1	3
	合計	100	117	128	119
コルクリス	米国	96	103	122	82
	合計	96	103	122	82
アドセトリス	日本	10	9	10	9
	欧州	47	52	54	48
	新興国	36	34	35	37
	合計	93	97	99	96
ランソプラゾール	日本 (注2)	15	10	11	10
	米国	38	37	47	31
	欧州およびカナダ	19	18	18	17
	新興国	25	24	24	25
	合計	97	88	99	83
アミティーザ	米国	86	88	94	69
	欧州およびカナダ	0	0	0	0
	新興国	0	0	0	0
	合計	86	88	95	69
アイクルシグ	米国	47	50	58	50
	米国以外	5	7	7	8
	合計	52	57	64	58
Alunbrig	米国	2	6	7	13
	合計	2	6	7	13

(注1) 知的財産権収益および役務収益を含めて表示。

(注2) 2016年4月に単剤を、2017年5月に配合剤を、テバ社との日本における合併会社に移管している。

現在は、これら製品の合併会社に対する供給売上を計上している。

(注3) 2018年度より、個別製品売上上のグローバルな管理体系にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上から控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

ネットベース：値引・割戻等の控除後

		18年度 (ネットベース)							
		Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
エンティビオ	米国	419	35.5%	454	30.4%				
	欧州およびカナダ	172	27.5%	191	32.7%				
	新興国	22	50.4%	26	36.1%				
	合計	613	33.6%	671	31.3%				
ベルケイド	米国	262	△14.7%	271	△8.2%				
	米国以外	52	△6.1%	64	1.5%				
	合計	314	△13.4%	335	△6.5%				
リュープロレリン	日本	105	△4.7%	96	△1.1%				
	米国	62	19.3%	49	19.6%				
	欧州およびカナダ	84	4.7%	83	△3.2%				
	新興国	35	14.2%	36	14.7%				
	合計	286	4.7%	265	3.5%				
アジルバ	日本	194	15.5%	158	8.0%				
	合計	194	15.5%	158	8.0%				
パントプラゾール	米国	20	6.8%	14	△35.4%				
	欧州およびカナダ	72	△8.0%	65	△10.2%				
	新興国	70	△0.1%	66	△21.7%				
	合計	162	△3.1%	145	△18.7%				
デクスラント	米国	130	1.4%	126	△5.0%				
	欧州およびカナダ	17	18.7%	18	14.7%				
	新興国	27	30.4%	31	37.4%				
	合計	174	6.6%	175	2.4%				
タケキャブ	日本	142	26.4%	129	17.1%				
	合計	143	26.5%	130	17.6%				
ネシーナ	日本	78	6.8%	65	5.4%				
	米国	12	△6.9%	16	△0.1%				
	欧州およびカナダ	26	28.7%	25	26.1%				
	新興国	26	84.3%	21	△2.1%				
	合計	141	18.2%	127	6.8%				
トリンテリックス	米国	141	25.8%	130	6.6%				
	合計	141	25.8%	130	6.6%				
ユーロリック	米国	138	23.4%	121	7.2%				
	欧州およびカナダ	2	4.2%	2	1.9%				
	新興国	1	17.1%	1	28.9%				
	合計	141	23.1%	124	7.2%				
ニンラーロ	日本	12	-	9	42.5%				
	米国	111	23.1%	117	15.8%				
	欧州およびカナダ	16	147.5%	19	111.9%				
	新興国	1	39.7%	9	-				
	合計	140	39.6%	154	31.7%				
コルクリス	米国	92	△4.3%	71	△31.2%				
	合計	92	△4.3%	71	△31.2%				
アドセトリス	日本	11	10.8%	11	19.8%				
	欧州	55	17.7%	52	△0.1%				
	新興国	43	20.0%	39	12.1%				
	合計	110	17.8%	101	4.1%				
ランソプラゾール	日本 (注2)	9	△42.2%	7	△25.6%				
	米国	20	△46.1%	29	△20.2%				
	欧州およびカナダ	17	△10.5%	16	△13.2%				
	新興国	24	△4.5%	24	△0.1%				
	合計	70	△27.7%	76	△14.0%				
アミティーザ	米国	78	△8.9%	84	△4.8%				
	欧州およびカナダ	0	5.7%	0	3.0%				
	新興国	0	△38.8%	0	-				
	合計	79	△8.9%	84	△4.7%				
アイクルシグ	米国	63	34.2%	64	29.0%				
	米国以外	7	43.9%	8	6.4%				
	合計	70	35.1%	72	26.2%				
Alunbrig	米国	11	-	12	102.3%				
	合計	11	-	12	105.1%				

(注1) 知的財産権収益および役務収益を含めて表示。

(注2) 2016年4月に単剤を、2017年5月に配合剤を、テバ社との日本における合弁会社に移管している。

現在は、これら製品の合弁会社に対する供給売上を計上している。

(注3) 2018年度より、個別製品売上上のグローバルな管理体系にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上から控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

ネットベース：値引・割戻等の控除後

## 2. 為替

平均レート	(円)			
	ドル	ユーロ	ルーブル	リアル
15年度	121	132	1.9	34.1
16年度	109	120	1.7	32.9
17年度	111	129	1.9	34.5
17年度Q2YTD (4-9月)	111	126	1.9	34.8
18年度Q2YTD (4-9月)	110	130	1.8	29.7
18年度公表予想	110	130	1.7	28.2

1%為替円安影響 (2018年10月-2019年3月)	(億円)			
	ドル	ユーロ	ルーブル	リアル
売上収益	+31.6	+10.4	+2.3	+1.7
Core Earnings	+6.3	△1.2	+1.2	+0.4
営業利益	+1.3	△3.5	+0.9	+0.3
当期利益	△0.8	△2.4	+0.6	+0.2

### 【2019年3月31日終了年度の武田薬品の利益予測】

武田薬品は現在、Shire plcに関するオファー期間（英国のCity Code on Takeovers and Mergers（以下、「コード」）において定義される期間をいいます。）にあります。コード第28条に基づき、武田薬品による2018年度のガイダンスに関する見解（2018年度における売上収益、Core Earnings、営業利益、税引前当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、EPS、研究開発費、無形資産償却費及び減損損失、収益/費用、並びに実質的売上収益、実質的Core Earnings及び実質的EPSに関する予想情報を含みます。）は、2018年度における業績予想（以下「武田薬品業績予想」）を構成します。

武田薬品業績予想に関する追加情報及び取締役による当該業績予想が有効なものであり、上掲の前提及び当社の会計方針に基づき適切に作成されている旨の確認につきましては、2018年9月30日に終了した武田薬品第2四半期の決算短信第8頁をご参照ください。



## II. パイプラインの状況

### 1. 開発の状況

- この表では当社が承認取得を目指し積極的に取り組んでいるパイプラインの主な効能を掲載しています。掲載している効能以外にも、将来の効能・剤型追加の可能性を検討するために臨床試験を行っています。
- この表では米国・欧州・日本・中国における開発状況を掲載していますが、新興国を含め他の地域においても開発を行っています。「開発段階」の欄には、米国・欧州・日本・中国のうちのいずれかにおいて、申請用データ取得試験を実施している、または販売許可申請を実施した国、地域を示しています。
- 米国・欧州・日本・中国における開発をまとめて「グローバル」の表記で記載している箇所があります。
- タケダが販売権を持っている地域において、いずれかの適応症で承認を取得している場合、製品名も記載しています（米国・欧州・日本・中国のみ）。
- ステージアップの基準はFSI（第一被験者の登録日）としています。

### ■ がん領域

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階
<b>&lt;brigatinib&gt;</b> ALUNBRIG®（米国）	ALK 阻害薬（経口剤）	クリゾチニブ投与中に進行した、あるいはクリゾチニブ不認容の ALK 陽性転移性非小細胞肺癌	欧州 申請（17/2） 中国 P-I
		ALK 陽性非小細胞肺癌（フロントライン適応）	米国 P-III 欧州 P-III 中国 P-I
		ALK 阻害薬投与歴のある日本人患者における ALK 陽性 非小細胞肺癌	日本 P-IIa
<b>SGN-35</b> <b>&lt;brentuximab vedotin&gt;</b> アドセトリス®（欧州、日本）	CD30 モノクローナル抗体薬物複合体 （注射剤）	ホジキンリンパ腫（フロントライン適応）	欧州 申請（17/11）
		末梢性 T 細胞リンパ腫（フロントライン適応）	欧州 P-III 日本 P-III
		再発・難治性のホジキンリンパ腫	中国 P-II
		再発・難治性の全身性未分化大細胞リンパ腫	中国 P-II
<b>MLN9708</b> <b>&lt;ixazomib&gt;</b> ニララーロ®（グローバル）	プロテアソーム阻害薬（経口剤）	初発の多発性骨髄腫	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III 中国 P-I
		自家造血幹細胞移植後の初発の多発性骨髄腫の維持療法	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III 中国 P-I
		自家造血幹細胞移植未実施の初発の多発性骨髄腫の 維持療法	グローバル P-III
		再発・難治性の原発性 AL アミロイドーシス	米国 P-III 欧州 P-III 中国 P-III
		再発・難治性の多発性骨髄腫 （デキサメタゾンとの 2 剤併用療法）	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
		再発・難治性の多発性骨髄腫 （ダラツムマブとデキサメタゾンとの 3 剤併用療法）	グローバル P-II
<b>&lt;ponatinib&gt;</b> ICLUSIG®（米国）	BCR-ABL 阻害薬（経口剤）	フィラデルフィア染色体陽性の急性リンパ性白血病	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
		慢性骨髄性白血病の患者を対象とする用量設定試験	米国 P-IIb
<b>TAK-924</b> <b>&lt;pevonedistat&gt;</b>	NEDD8 活性化酵素阻害薬 （注射剤）	高リスク骨髄異形成症候群、慢性骨髄単球性白血病、 低プラスト急性骨髄性白血病	米国 P-III 欧州 P-III
<b>TAK-385</b> <b>&lt;relugolix&gt;</b>	LH-RH アンタゴニスト（経口剤）	前立腺がん	日本 P-III 中国 P-I
<b>TAK-228</b> <b>&lt;sapanisertib&gt;</b>	mTORC1/2 阻害薬（経口剤）	子宮内膜がん	米国 P-IIb
<b>TAK-659</b> <b>&lt;-&gt;</b>	SYK/FLT3 キナーゼ阻害薬 （経口剤）	びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫	— P-IIa
		固形がん、血液がん	— P-I
<b>TAK-931</b> <b>&lt;-&gt;</b>	CDC 7 阻害薬（経口剤）	転移性結腸がん、食道扁平上皮がん、 非小細胞肺癌（扁平上皮がん）	— P-IIa
<b>&lt;cabozantinib&gt;</b>	マルチターゲットキナーゼ阻害薬 （経口剤）	腎がん（セカンドライン治療）	日本 P-IIa
		肝細胞がん（セカンドライン治療）	日本 P-IIa
<b>TAK-079</b> <b>&lt;-&gt;</b>	抗 CD38 モノクローナル抗体 （注射剤）	再発・難治性の多発性骨髄腫	— P-I
		全身性エリテマトーデス	— P-I

<b>TAK-164</b> <->	抗 GCC 抗体薬物複合体 (注射剤)	消化器がん	—	P-I
<b>TAK-522/XMT-1522</b> <sup>*1</sup> <->	HER2 dolaflexin 抗体薬物複合体 (注射剤)	HER2 陽性の固形がん	—	P-I
<b>TAK-573</b> <->	抗 CD38 抗体(IgG4)と活性減弱 IFNαとの融合蛋白 (注射剤)	再発・難治性の多発性骨髄腫	—	P-I
<b>TAK-788</b> <->	EGFR/HER2 阻害薬 (経口剤)	非小細胞肺癌	—	P-I
<b>TAK-981</b> <->	SUMO 阻害薬 (注射剤)	複数のがん種	—	P-I
<b>&lt;niraparib&gt;</b>	PARP1/2 阻害薬 (経口剤)	複数のがん種	日本	P-I

\*1 当社と Mersana 社は XMT-1522 を共同開発するが、臨床第 1 相試験については Mersana 社が実施する。

2018 年度第 1 四半期決算開示以降の追加： Cabozantinib 肝細胞がん (セカンドライン治療) (日本) (P-II a)  
TAK-981 複数のがん種 (P-I)

2018 年度第 1 四半期決算開示以降の削除： SGN-35 ホジキンリンパ腫 (フロントライン適応) (日本) (承認 18/9)

## ■ 消化器系疾患領域

開発コード <一般名> 製品名	薬効 (投与経路)	適応症/剤型追加	開発段階	
<b>MLN0002</b> <vedolizumab> エンタビオ® (米国、欧州、日本)	ヒト化抗α4β7 インテグリン モノクローナル抗体 (注射剤)	クローン病	日本 中国	申請 (18/7) P-III
		潰瘍性大腸炎	中国	P-III
		皮下投与製剤 (潰瘍性大腸炎、クローン病)	米国 欧州 日本	P-III P-III P-III
		潰瘍性大腸炎の患者におけるアグリマブとの比較試験	グローバル	P-III
		同種造血幹細胞移植を受けている患者における 移植片対宿主病の予防	—	P-II a
<b>TAK-438</b> <vonoprazan> タケキャブ® (日本)	カルウムイオン競合型アシッド プロテアーゼ阻害薬 (経口剤)	酸関連疾患	中国	申請 (18/2)
		非びらん性胃食道逆流症	日本	P-III
		プロトンポンプ阻害薬による治療で効果が不十分な 患者における逆流性食道炎	欧州	P-II b
<b>Cx601</b> <darvadstrocel> ALOFISEL® (欧州)	同種異系脂肪由来幹細胞懸濁剤 (注射剤)	難治性のクローン病に伴う肛門複雑瘻孔	米国	P-III
<b>TAK-954</b> <->	5-HT4 受容体アゴニスト (注射剤)	経腸栄養不耐性	—	P-II b
<b>TAK-906</b> <->	ドパミン D2/D3 受容体アンタゴニスト (経口剤)	胃不全麻痺	—	P-II a
<b>TAK-671</b> <->	プロテアーゼ阻害薬 (注射剤)	急性膵炎	—	P-I
<b>EB8018</b> <sup>*2</sup> <->	FimH アンタゴニスト (経口剤)	クローン病	—	P-I
<b>TIMP-GLIA</b> <sup>*3</sup> <->	Tolerizing Immune Modifying nanoParticle (TIMP) (注射剤)	セリアック病	—	P-I
<b>Kuma062</b> <sup>*4</sup> <->	グルテン分解酵素 (経口剤)	セリアック病	—	P-I

\*2 Enterome 社との提携

\*3 Cour Pharmaceuticals 社との提携、臨床第 1 相試験は同社が実施

\*4 PVP Biologics 社との提携、臨床第 1 相試験は同社が実施

2018 年度第 1 四半期決算開示以降の追加： TAK-671 急性膵炎 (P-I)  
EB8018 クローン病 (P-I)

2018 年度第 1 四半期決算開示以降の削除： MLN0002 ステロイド難治性の移植片対宿主病 (P-II a)

SPI 0211 新規剤型 (慢性特発性便秘症、オピオイド誘発性便秘症) (米国) (P-III)

## ■ ニューロサイエンス（神経精神疾患）領域

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階	
Lu AA21004 ＜vortioxetine＞ TRINTELLIX®（米国）	マルチモダル型抗うつ薬 （経口剤）	大うつ病	日本	申請（18/9）
TAK-831 ＜ - ＞	D-アミノ酸化酵素阻害薬 （経口剤）	フリードライヒ運動失調症	—	P - II a
		統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P - II a
TAK-935*5 ＜ - ＞	CH24H 阻害薬（経口剤）	希少小児てんかん	—	P - II a
WVE-120101*6 ＜ - ＞	mHTT SNP1 アンチセンス オリゴヌクレオチド（注射剤）	ハンチントン病	—	P - I / II
WVE-120102*6 ＜ - ＞	mHTT SNP2 アンチセンス オリゴヌクレオチド（注射剤）	ハンチントン病	—	P - I / II
TAK-041 ＜ - ＞	GPR139 アゴニスト（経口剤）	統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P - I
TAK-341 / MEDI-1341*7 ＜ - ＞	抗α-シヌクレイン抗体（注射剤）	パーキンソン病	—	P - I
TAK-418 ＜ - ＞	LSD1 阻害薬（経口剤）	歌舞伎症候群	—	P - I
TAK-653 ＜ - ＞	AMPA 受容体ポテンシエーター （経口剤）	治療抵抗性うつ病	—	P - I
TAK-925 ＜ - ＞	オレキシン 2R アゴニスト（注射剤）	ナルコレプシー	—	P - I

\*5 Ovid Therapeutics 社との共同開発

\*6 Wave Life Sciences との 50/50 共同開発・共同販売のオプション契約

\*7 AstraZeneca 社との提携、臨床第 1 相試験は同社が実施

2018 年度第 1 四半期決算開示以降の追加： WVE-120101 ハンチントン病（P - I / II）、WVE-120102 ハンチントン病（P - I / II）

2018 年度第 1 四半期決算開示以降の削除： Lu AA21004 治療に起因する性機能障害（米国）（添付文書へのデータ追記 18/10）

## ■ ワクチン

開発コード 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階	
TAK-003	4 価 Dengue 熱ワクチン（注射剤）	Dengue 熱の予防	—	P - III
TAK-214	ノロウイルスワクチン（注射剤）	ノロウイルスによる急性胃腸炎の予防	—	P - II b
TAK-195	セーピン株不活化ポリオワクチン （注射剤）	ポリオの予防	—	P - I / II
TAK-021	EV71 ワクチン（注射剤）	エンテロウイルス 71 により発症する手足口病の予防	—	P - I
TAK-426	ジカウイルスワクチン（注射剤）	ジカウイルス感染の予防	—	P - I

## 2. 最近のステージアップ品目 ※2017年度決算開示（2018年5月14日）以降の進捗情報

開発コード ＜一般名＞	適応症／剤型追加	国／地域	進捗情報
MLN0002 ＜vedolizumab＞	潰瘍性大腸炎	日本	承認（18/7）
MLN0002 ＜vedolizumab＞	クローン病	日本	申請（18/7）
MLN0002 ＜vedolizumab＞	同種造血幹細胞移植を受けている患者における移植片対宿主病の予防	—	P－II a
MLN9708 ＜ixazomib＞	再発・難治性の多発性骨髄腫 （ダラツムマブとデキサメタゾンとの3剤併用療法）	グローバル	P－II
Kuma062 ＜-＞	セリアック病	—	P－I
TAK-164 ＜-＞	消化器がん	—	P－I
SGN-35 ＜brentixumab vedotin＞	ホジキンリンパ腫（フロントライン適応）	日本	承認（18/9）
Lu AA21004 ＜vortioxetine＞	大うつ病患者において、選択的セロトニン再取り込み阻害薬（SSRI）により惹起された性機能障害を、escitalopramと比較して有意に改善したことを示すデータを添付文書に追記	米国	承認（18/10）
Lu AA21004 ＜vortioxetine＞	大うつ病	日本	申請（18/9）
＜ponatinib＞	フィラデルフィア染色体陽性の急性リンパ性白血病	米国、欧州、日本	P－III
＜cabozantinib＞	肝細胞がん（セカンドライン治療）	日本	P－II a
WVE-120101 ＜-＞	ハンチントン病	—	P－I / II
WVE-120102 ＜-＞	ハンチントン病	—	P－I / II
TAK-671 ＜-＞	急性膵炎	—	P－I
TAK-981 ＜-＞	複数のがん種	—	P－I
EB8018 ＜-＞	クローン病	—	P－I

※太線以下は、2018年度第1四半期決算開示（2018年7月31日）以降の進捗情報

## 3. 開発中止品目 ※2017年度決算開示（2018年5月14日）以降の情報

開発コード ＜一般名＞	適応症／剤型追加（開発段階）	中止および終了理由
MLN0002 ＜vedolizumab＞	ステロイド難治性の移植片対宿主病（P－II a）	ステロイド難治性の移植片対宿主病の患者において、種々の合併症により開発を継続するに足る有効性を示すことが困難となり、開発中止を決定。
SPI 0211 ＜lubiprostone＞	新規剤型（米国 P－III）	慢性特発性便秘症の成人患者における新規スプリンクル製剤とカプセル剤とをプラセボと比較して生物学的同等性を評価する第3相臨床試験において、当該基準を満たさなかった。

## 4. 外部導出を通じたバリュークリエーション品目（候補品目） ※2017年度決算開示（2018年5月14日）以降の情報

開発コード ＜一般名＞	適応症／剤型追加（開発段階）	理由
TAK-385 ＜relugolix＞	子宮筋腫（日本・申請） 子宮内腺症（日本 P－II b）	製品価値の最大化を目的に、日本における子宮筋腫の独占的販売権および子宮内腺症の独占的開発・販売権を、婦人科領域に強みを有するあすか製薬に導出。

## 他社へ導出した品目

導出先	内容/目的	
あすか製薬 <sup>†</sup>	relugolix（一般名、開発コード：TAK-385）に関し、製品価値の最大化を目的に、日本における子宮筋腫の独占的販売権および子宮内膜症の独占的開発・販売権を、あすか製薬に導出するライセンス契約。	
Biological E. Limited	インド、中国および低・中所得国において、安価な混合ワクチンの開発を促進するため、既存の麻しんワクチンおよび無細胞百日せきワクチンの大量生産技術を当社からBiological E.社へ移管。	
Cardurion Pharmaceuticals	湘南研究所の12名の循環器系疾患領域の研究チーム、同研究所内の整備された研究スペース、研究開発リソース及び循環器系疾患の複数の前臨床パイプラインをCardurion社に提供。	
Cerevance	武田ケンブリッジ（英国）から25名の神経科学研究チームのCerevance社への移籍とともに、十分に整備された研究施設および前臨床・臨床段階のポートフォリオをCerevance社に移管。	
Izana Biosciences	Namilumabの全ての効能に関し、全世界において開発、製造および販売を行う独占的権利をIzana Biosciences社に供与。本ライセンス契約の一部として、同社の株式を戦略的に取得。	
Myovant Sciences	日本とアジアの一部の国を除く全世界におけるrelugolix（TAK-385）の独占的権利、および全世界におけるMVT-602（TAK-448）の独占的権利をMyovant社に供与。	
Rhythm	T-3525770（現開発コードRM-853）の全世界の開発・販売にかかる独占的権利をRhythm社に供与。RM-853はプラダウウィリ症候群を対象として前臨床段階にある強力で経口投与可能なグレリン脂肪酸転移酵素（GOAT）阻害薬。	
Sochia Pharma	TAK-272、TAK-792及びTAK-094を含めた8つの研究開発プロジェクトに関して、独占的に研究、開発、製造、販売等を行う権利を供与。	
Samsung Bioepis	アンメトニースの高い疾患領域における新規生物学的治療薬への共同出資・共同開発。本プログラムの最初の治療薬候補は重症肺炎への適応を企図とするTAK-671。	
Stargazer <sup>†</sup>	当社のパイプライン品目をStargazer社に導出。	
Entrepreneurial Venture Programs (EVPs)	Aikomi	認知症患者向けのデジタル治療法を開発中。
	ChromaJean	独自のアルゴリズムやソフトウェアに基づくクロマトグラフィー・プラットフォームを構築。
	Chordia Therapeutics	当社湘南研究所の6名のがん領域研究者、同研究所内の整備された研究スペース、研究開発リソース及び CDC様キナーゼ阻害薬を含めたがん領域の前臨床パイプラインをChordia社に提供。
	ファイメクス	タンパク質分解誘導を作用機序とする新たな医薬品の研究開発。
	GenAhead Bio	特定の細胞に対する核酸デリバリー技術、ならびに効率的なゲノム編集技術という2つの技術を提供。受託サービスや細胞療法・遺伝子治療における共同研究も提供。
	ジェクスヴァル	当社の研究後期・開発初期のパイプラインを活用し、肺動脈性肺高血圧症などの難病の治療薬を創出。
	リボルナバイオサイエンス	遺伝病に伴うRNA変性を調節する低分子医薬品を開発。
	Seedsupply	新規Binder Selection Technologyと当社の化合物ライブラリーを用いてハイスループットスクリーニングの受託サービスを提供。同Technologyと自社のタンパク質ライブラリーを用いた標的分子同定の受託サービスも提供。
	ARTham <sup>†</sup>	ドラッグリポジショニングによって特定した質の高い品目の臨床及び非臨床段階の開発に注力。

<sup>†</sup> 2018年4月1日以降の新規契約

## 5. 共同研究開発活動

### ■ がん領域

提携先	国	内容/目的
Adimab <sup>†</sup>	米国	がん領域において、3つのモノクローナル抗体及び3つのCD3二重特異性抗体の創製・開発・販売。
Centre d'Immunologie de Marseille-Luminy	フランス	先天性生物学における専門知識を当社のBacTrap技術と組み合わせ、骨髄細胞における新規の標的および経路を検証。
Crescendo Biologics	英国	がん領域におけるHumabody <sup>®</sup> を用いた治療薬の創製、開発および販売。
Exelixis, Inc.	米国	がん治療薬cabozantinibに関して、日本における進行性腎細胞がん及び肝細胞がんをはじめ適応拡大を含めた独占的な開発・販売権を獲得。
GammaDelta Therapeutics	英国	ヒト組織常在型のガンマ・デルタT細胞が有する独自の特性に基づくGammaDelta社の新規T細胞基盤技術を活用した、新たな免疫治療薬の研究開発。
Haemalogix <sup>†</sup>	オーストラリア	多発性骨髄腫における新規抗原に関するライセンスと共同研究。
Heidelberg Pharma	ドイツ	抗体薬物複合体に関する2標的ライセンスを含む研究提携（アルファマニチン毒素及び独占権を有するリンカー）。
ImmunoGen, Inc.	米国	TAK-164を含め、ImmunoGen社が有するADC（抗体薬物複合体）技術を活用し、最大2つの標的を目的とする抗がん剤を開発・販売。
Maverick Therapeutics	米国	T細胞によるがん細胞認識および攻撃能力の有効性を向上させるために開発されたT細胞誘導法の基盤技術開発。
Memorial Sloan Kettering Cancer Center <sup>†</sup>	米国	血液がん・固形がんに対する、新規のキメラ抗原受容体発現T細胞（CAR-T）の細胞療法を研究・開発。
Mersana Therapeutics	米国	Mersana社が有するADC（抗体薬物複合体）技術を活用し、抗がん剤を開発。HER-2陽性のがんを標的とする抗体薬物複合体であるXMT-1522は乳がん・胃がん・非小細胞肺癌において臨床試験実施中。
Molecular Templates	米国	最初の提携契約では、Molecular Templates社が有するengineered toxin bodies (ETB)基盤技術を用いて治療標的候補に活用。 2つ目の契約では、多発性骨髄腫などの疾患を対象とするCD38を標的とするETBを共同開発 <sup>†</sup> 。
Nektar Therapeutics	米国	Nektar社が保有する免疫治療候補薬であるNKTR-214（CD122-biased agonist）と、当社のがん領域における5つの開発品目との併用治療を検証する共同研究。
Noile-Immune Biotech	日本	山口大学 玉田耕治教授により開発された次世代型キメラ抗原受容体発現T細胞（CAR-T）療法の研究開発。
Seattle Genetics	米国	CD30を標的とするADC（抗体薬物複合体）であるホジキンリンパ腫治療剤「アドセトリス」の共同開発。現在は67カ国において承認済みであり、追加効能取得のための臨床試験を実施中。
Shattuck Labs	米国	免疫療法と単一薬剤の組み合わせを可能とするShattuck社独自のAgonist Redirected Checkpoint (ARC) <sup>™</sup> プラットフォーム技術を用いたチェックポイント融合蛋白の探索及び開発。
Tesaro	米国	新規がん治療薬niraparibに関して、日本における全てのがん、および韓国、台湾、ロシア、オーストラリアにおける前立腺がんを除く全てのがんに関する独占的な開発・販売権を獲得。
Teva	イスラエル	TEV-48573 (TAK-573) (CD38-Attenukine)の全世界の権利及びTeva社のAttenukineプラットフォーム技術を活用する複数のターゲットの研究提携。

† 2018年4月1日以降の新規契約

### ■ 消化器系疾患領域

提携先	国	内容/目的
Ambys Medicines <sup>†</sup>	米国	様々な肝疾患において、肝機能の回復および肝不全への進行抑制という差し迫った医療ニーズに対し、細胞治療、遺伝子治療、機能獲得薬物療法を含む新規モダリティを臨床応用。
Arcturus	米国	非アルコール性脂肪肝炎及び他の消化器系疾患において、Arcturus社が有するLUNAR <sup>™</sup> 脂質媒体薬物送達システム及びUnlocked Nucleomonomer Agent (UNA)オリゴマーの化学的性質を活用し、RNAをベースとする治療薬の共同開発。
Beacon Discovery	米国	消化器系疾患に対するG蛋白質共役型受容体に関連する薬剤の創製・開発プログラム。
Cour Pharmaceutical Development Company	米国	Cour社が有するTolerizing Immune Modifying nanoParticles(TIMP)技術に基づくナノテクノロジー技術を利用し、セリアック病等の消化器疾患の治療薬となり得る免疫調整薬を創出。
Emulate Bio	米国	オーガニックマイクロエンジニアモデルを用いた炎症性腸疾患に対する薬剤の探索。
enGene	カナダ	enGene社の遺伝子導入基盤技術である「Gene Pill」を活用し、専門的な消化器系疾患領域に対する新規治療薬を創出・開発・販売。
Enterome	フランス	潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患や過敏性腸症候群などの腸管運動障害をはじめとした消化器系疾患において重要な役割を担うと考えられる腸内細菌を標的とした新たな治療薬を創出・開発
Finch Therapeutics	米国	炎症性腸疾患を対象とした腸内細菌移植試験における良好な臨床結果との関連が示唆される複数の細菌株を培養した前臨床段階の生菌カクテル製剤であるFIN-524の全世界を対象とした共同開発。 また、EB8018のクローン病におけるグローバルのライセンス及び共同開発。
Hemoshear Therapeutics	米国	非アルコール性脂肪肝炎を含む肝臓の疾患において、HemoShear社の創薬基盤技術であるREVEAL-Tx <sup>™</sup> を活用し、新規治療法を創出。
Karolinska Institutet & Structural Genomics Consortium	スウェーデン	炎症性腸疾患における新規治療法の探索および検証に向けた共同研究。
NuBiyota	カナダ	Microbial Ecosystem Therapeuticを活用した腸内細菌由来の治療薬の研究開発。
PvP Biologics	米国	グルテンを持つ自己免疫反応を引き起こす成分を胃の中で分解するよう設計された酵素製剤であるKuma062の全世界を対象とした共同開発。
Theravance Biopharma	米国	消化管運動障害治療薬候補である5-HT4受容体アゴニストTAK-954のグローバルにおける提携契約。

## ■ ニューロサイエンス（神経精神疾患）領域

提携先	国	内容/目的
Affilogic	フランス	Affilogic社が有するNanofitin®技術を活用し、中枢神経系疾患を対象とした治療薬に関する共同研究開発。
AstraZeneca	英国	パーキンソン病の治療薬候補として、alpha-synuclein抗体であるMEDI1341の共同開発・販売契約。
Cerevence	米国、英国	神経・精神疾患に対する新薬の研究開発。。
Denali Therapeutics	米国	Denali社が有する脳へのバイオ治療薬移行性を高めるAntibody Transport Vehicle (ATV) プラットフォーム技術を用いた、3つの神経変性疾患治療薬候補の開発および販売に関する戦略的オプションを含む提携契約。
Lundbeck	デンマーク	Vortioxetineの共同開発・販売契約。
Mindstrong Health	米国	特定の精神疾患（特に、統合失調症および治療抵抗性のうつ病）を対象としたデジタルバイオマーカーの開発。
Ovid Therapeutics	米国	CH24H阻害薬であるTAK-935（経口剤）の希少小児てんかんでの共同開発。当社とOvid社は開発・製品化にかかる費用を折半し、開発成功時の利益も折半。
Teva	イスラエル	Rasagilineの共同開発・販売契約。
Wave Life Sciences	米国	神経疾患に対するアンチセンスオリゴヌクレオチド医薬品の開発を目指した研究開発および販売に関する契約、ならびに複数のプログラムに関するオプション契約。

## ■ ワクチン

提携先	国	内容/目的
米国政府 The Biomedical Advanced Research and Development Authority (BARDA)	米国	米国や世界中の流行地域でのジカウイルス感染への取り組みとして、当社が有するジカ熱ワクチン（TAK-426）の開発をBARDAが助成。
Bill & Melinda Gates Foundation	米国	発展途上国でのポリオ根絶を目指し、当社が有するセービン株不活化ポリオワクチン（TAK-195）の開発をBill & Melinda Gates Foundationが助成。
Zydus Cadila	インド	顧みられない新興感染症への取り組みとして、チングニア熱ワクチン（TAK-507）を共同開発。

## ■ その他/複数の疾患領域

提携先	国	内容/目的
国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)	日本	ゲノム編集により作製した疾患iPS心筋細胞を用いた肥大型心筋症治療薬の開発（CICLE: AMEDIによる医療研究開発革新基盤創成事業）。
Arix Bioscience	英国	がんおよび消化器系疾患を中心に、ベンチャー企業とバイオテック企業との連携によるバリュークリエーション。
Arcellx	米国	T細胞が媒介する抗がん治療の基盤研究と開発への投資。
ArmaGen <sup>†</sup>	米国	独自の基盤技術より、身体の自然なシステムを利用し、非侵襲的に脳に治療薬を送達する技術を持つArmaGen社への投資。
Atlas Ventures	米国	ベンチャーへの投資を促進する11回目のファンド。
Biomotiv	米国	免疫・炎症および代謝性・循環器疾患領域において革新的な新薬候補物質の同定・開発の強化に向けた戦略的投資。
BiomX	イスラエル	炎症性腸疾患やがんなどの腸内細菌関連疾患において、有害な細菌を探索・破壊するよう合理的に設計されたファージ療法を開発するとともに、腸内細菌の標的を探索、検証するBiomX社への投資。
BioSurfaces, Inc.	米国	BioSurfaces社のナノマテリアル技術を活用した、消化器系疾患の患者さんを治療するための革新的な医療デバイスに関する共同研究。
Bridge Medicines	米国	Tri-I TDIで採択された研究プロジェクトに対して、資金面、運用面、管理面で支援を行い、有効性やターゲットの創薬上の検証であるブルー・オブ・コンセプト（POC）試験から臨床試験への移行まで継ぎ目なく実施。
京都大学iPS細胞研究所（CiRA）	日本	当社重点領域疾患（ニューロサイエンス、オンコロジー、消化器系）及びその他疾患領域でトランスレーショナルサイエンス探索のためのiPS細胞の臨床応用。
Cortexyme	米国	アルツハイマー病や他の神経変性疾患の原因に関する新しい理論を支持するデータに基づき、新規の治療法を開発するCortexyme社への投資。
Dementia Discovery Fund (DDF)	英国	認知機能障害の革新的治療のための創薬・開発を支援するグローバル投資ファンド。
Emendo	イスラエル	重篤な疾患や障害の原因となる細胞の遺伝子変異を修復・除去することができるゲノム編集技術の開発、最先端の遺伝子治療に取り組むEmendo社への投資。
富士フイルム	日本	iPS細胞由来心筋細胞を用いた再生医療製品の共同事業化。
FuturRx	イスラエル	イスラエルにおけるイノベーションにアクセスするシード段階のベンチャーファンド/アクセラレーターへの投資。既存のシンジケートを活用することにより、リスクを低減。
Harrington Discovery Institute at University Hospitals in Cleveland, Ohio	米国	希少疾患治療に繋がる革新的な研究提携。
HITGen	中国	HITGen社のDNAエンコードライブラリーデザイン、合成、スクリーニング技術によって発見された新規治療薬プラットフォームに関して、当社は独占的ライセンスの権利を有する。
HiFiBio	米国	消化器系およびがんの疾患領域において新規の治療抗体を見出すためのハイスループト抗体探索基盤技術。
Hookipa Biotech	オーストリア	ベンチャーやバイオテック企業との提携によるバリュークリエーション。

Isogenica	英国	シングルドメイン抗体 (sdAb)の基盤技術を活用し、がんや消化器系疾患領域における病因の検証やパイプライン開発のための様々な免疫細胞や標的に対するへのVHH (重鎖抗体の重鎖得可変領域)の開発。
国立がん研究センター	日本	抗がん剤の創薬やがん生物学の研究に携わる研究者、医師などの交流を促進による、基礎研究から臨床試験までの治療オプションの探索。
Numerate	米国	当社重点疾患領域 (オンコロジー、消化器系、ニューロサイエンス) におけるAIプラットフォームを用いた臨床標的の同定を企図した共同研究 (ヒット化合物からリード化合物のデザイン・最適化さらには薬物動態・毒性モデルまで)。
OrphoMed	米国	独自のダイマー治療プラットフォームを有し臨床開発を対象とするバイオテック企業であり、消化器系疾患領域において、ベストインクラスのダイマー治療薬の基盤技術を活用するOrphoMed社への投資。
Obsidian Therapeutics	米国	薬理学的オペレーティングシステムを用いて次世代の細胞療法・遺伝子治療を開発するObsidian社への投資。
Presage	米国	複数の初期段階にある治療候補薬を患者で同時目撃直接評価することが可能になるCIVO基盤技術を保有するPresage社への投資。
Portal Instruments	米国	針を使わない医療用デバイスの武田薬品の開発中または承認済み生物学的製剤への応用開発および商品化。
Recursion Pharmaceuticals	米国	当社TAK-celerator™ 開発パイプラインのための前臨床課題の提供。
Ribon Therapeutics	米国	がん細胞のストレス下で生存する基本的な能力を阻止するmonoPARP阻害剤の発見と開発を行っているRibon Therapeutics社への投資。
Schrödinger	米国	保有するin silico技術に基づく創薬力と当社の疾患領域に対する深い知見および構造生物学における専門性を融合した、複数の創薬標的に関する共同研究。
Seattle Collaboration	米国	SPRINT (Seattle Partnership for Research on Innovative Therapies) : Fred Hutchinson Cancer Research Center及びWashington大学によるヒト疾患治療への先進的発見の促進 (オンコロジー、消化器系、ニューロサイエンスに注力)。
Stanford University	米国	革新的な治療薬をさらに効率的に開発するために、Stanford Alliance for Innovative Medicines (Stanford AIM)を設立。
Stride Bio <sup>†</sup>	米国	希少疾患治療のための遺伝子治療向けに設計されたウイルスベクターの開発を行っているStride Bioへの投資。Stride Bio社の技術エンジンが生体に存在する中和抗体を回避することが可能なアデノ随伴ウイルスベクターを設計。
Trianni, Inc.	米国	保有する次世代の遺伝子導入マウスの基盤技術を用いて、当社が研究対象とする全ての疾患領域において、ヒト型モノクローナル抗体を作成。
Tri-Institutional Therapeutics Discovery Institute (Tri-I TDI)	米国	産学連携を推進し、革新的な医薬品を創出。
Ultragenyx	米国	希少遺伝子疾患。
Univercells	ベルギー	バイオ医薬品の適正なコストでの利用促進を目指し、新しいバイオ医薬品製造プラットフォームを提供するテクノロジー企業。
VelosBio	米国	前臨床段階にあるADCs (抗体薬物複合体) を開発しているVelosBio社への投資。
VHsquared	英国	臨床開発を対象とする企業で、炎症性腸疾患のための画期的治療薬Vorabodies™ (経口ドメイン抗体)を開発。
Whiz Partners	日本	日本の創薬エコシステム構築を目指す投資組合の共同設立。

†2018年4月1日以降の新規契約

注：本リストは全ての共同研究開発活動を記載しているものではありません。

## ■ 終了した共同研究開発活動

提携先	国	内容/目的
Gencia LLC	米国	血液疾患および炎症性疾患を対象とした、ミトコンドリア結合型糖質コルチコイド受容体作動薬 (「MAGR作動薬」)の研究開発。
Prana Biotechnology Ltd.	オーストラリア	消化器系における神経変性を防ぐPrana社のpbt434に関する研究提携。
TiGenix	ベルギー	クローン病に伴う肛門複雑瘻孔の治療薬候補であるCx601の米国以外における提携契約。
慶應義塾大学、新潟大学、京都大学	日本	神経精神疾患やがんなどを対象とした、疾患関連RNA結合タンパク質の探索と機能解析。
アステラス製薬、第一三共	日本	革新的医薬品の創出を効率化・加速化するための、健康成人におけるバイオマーカーの基礎データ。

## ■ ホームページで開示している臨床試験情報

臨床試験情報は自社ホームページの英文サイト (<https://takedaclinicaltrials.com/>) で、日本における情報については和文サイト (<https://www.takeda.com/jp/what-we-do/research-and-development/takeda-clinical-trial-transparency/>) で公開しています。当社では、全世界の医療関係者および患者さんなど多くの方々に臨床試験情報を公開することにより、当社製品のより一層の適正使用に資するものと考えています。



## Appendix

### ◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）<sup>(注1)</sup>

(百万米ドル)

	ネットベース						対前年同期	
	15年度	16年度	17年度	17年度 Q2 YTD	18年度 Q2 YTD			
エンティオ	524	913	1,202	592	797	205	34.7%	
ベルケイド	1,059	1,000	995	526	471	△56	△10.6%	
トリンテリックス	203	294	435	211	248	37	17.5%	
ユーロリック	347	380	411	202	237	35	17.2%	
デクスラント	530	457	445	234	233	△1	△0.5%	
ニンラーロ	34	267	354	172	209	36	21.2%	
コルクリス	386	358	362	179	149	△30	△16.8%	
アミティーザ	308	310	303	157	148	△9	△5.5%	
アイクルシグ	-	22	171	82	106	25	30.0%	
プレバシド (ランソプラゾール)	222	179	132	64	43	△21	△33.4%	
Alunbrig	-	-	25	7	20	13	174.9%	

(注1) 知的財産権収益および役務収益を除いた製品売上高を表示。

ネットベース：値引・割戻等の控除後

◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）<sup>（注1）</sup>（四半期）

（百万米ドル）

	17年度（ネットベース）				18年度（ネットベース）							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
エンティビオ	278	314	309	301	387	39.3%	410	30.6%				
ベルケイド	268	259	249	219	235	△12.1%	235	△9.1%				
トリンテリックス	101	110	126	98	130	29.4%	117	6.7%				
ユーロリック	101	102	104	105	128	27.1%	109	7.3%				
デクスラント	115	120	126	85	120	4.2%	114	△5.0%				
ニンラーロ	81	91	95	87	103	26.8%	106	16.2%				
コルクリス	87	93	109	74	85	△1.6%	64	△31.0%				
アミティーザ	77	80	84	63	72	△6.2%	76	△4.7%				
アイクルシグ	40	42	49	41	55	37.8%	51	22.5%				
プレバシド （ランソプラゾール）	33	31	40	28	18	△46.0%	25	△20.1%				
Alunbrig	2	5	6	12	10	-	10	102.4%				

（注1）知的財産権収益および役務収益を除いた製品売上高を表示。

ネットベース：値引・割戻等の控除後

◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高

(億円)

	発売年月	薬効区分	グロスベース		ネットベース				
			15年度	16年度	17年度	17年度 Q2 YTD	18年度 Q2 YTD	対前年同期	
アジルバ <sup>(注1)</sup>	(12. 5)	高血圧症治療剤	590	669	640	314	352	38	12.0%
タケキャブ <sup>(注1)</sup>	(15. 2)	酸関連疾患 治療剤	84	341	485	223	272	49	21.8%
リュープリン (リュープロレリン)	(92. 9)	前立腺がん・乳がん・ 子宮内膜症治療剤	538	486	412	208	201	△6	△3.0%
エンブレル	(05. 3)	抗リウマチ剤	408	404	371	190	181	△9	△4.8%
ロトリガ	(13. 1)	高脂血症治療剤	223	275	285	139	152	13	9.7%
ネシーナ <sup>(注1)</sup>	(10. 6)	糖尿病治療剤	369	329	266	135	143	8	6.1%
バクティビックス	(10. 6)	直腸・結腸がん 治療剤	184	188	189	97	105	8	8.5%
レミニール	(11. 3)	アルツハイマー型 認知症治療剤	160	174	161	82	84	2	2.7%
ロゼレム	(10. 7)	不眠症治療剤	74	81	80	40	47	7	18.7%
ベネット	(02. 5)	骨粗鬆症治療剤	97	83	68	35	32	△4	△10.7%
アドセトリス	(14. 4)	悪性リンパ腫 治療剤	31	33	38	19	22	3	15.0%
ニンラーロ	(17. 5)	多発性骨髄腫 治療剤	-	-	25	9	21	12	132.7%
アジレクト	(18. 6)	パーキンソン病治療剤	-	-	-	-	3	3	-

(注1) 配合剤、パック製剤を含む。

(注2) 2018年度より、個別製品売上のグローバルな管理体系にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上から控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

グロスベース：値引・割戻等の控除前（16年度の国内オンコロジー製品は控除後）

ネットベース：値引・割戻等の控除後

◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高（四半期）

（億円）

発売年月	薬効区分	17年（ネットベース）				18年度（ネットベース）							
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
アジルバ <sup>(注1)</sup>	(12. 5)	高血圧症治療剤	168	146	190	135	194	15.5%	158	8.0%			
タケキャブ <sup>(注1)</sup>	(15. 2)	酸関連疾患治療剤	113	110	151	110	142	26.4%	129	17.1%			
リュープリン (リュープロレリン)	(92. 9)	前立腺がん・乳がん・ 子宮内膜症治療剤	110	97	123	82	105	△4.7%	96	△1.1%			
エンブレル	(05. 3)	抗リウマチ剤	99	91	105	76	99	△0.0%	82	△10.1%			
ロトリガ	(13. 1)	高脂血症治療剤	72	67	85	61	81	13.2%	71	6.1%			
ネシーナ <sup>(注1)</sup>	(10. 6)	糖尿病治療剤	73	62	80	51	78	6.8%	65	5.4%			
ベクティビックス	(10. 6)	直腸・結腸がん 治療剤	50	47	53	40	54	8.0%	51	9.0%			
レミニール	(11. 3)	アルツハイマー型 認知症治療剤	43	39	47	33	45	4.7%	39	0.5%			
ロゼレム	(10. 7)	不眠症治療剤	21	19	23	17	25	19.4%	22	17.9%			
ベネット	(02. 5)	骨粗鬆症治療剤	19	16	19	13	17	△10.2%	15	△11.3%			
アドセトリス	(14. 4)	悪性リンパ腫 治療剤	10	9	10	9	11	10.8%	11	19.8%			
ニンラーロ	(17. 5)	多発性骨髄腫 治療剤	2	6	9	7	12	-	9	42.5%			
アジレクト	(18. 6)	パーキンソン病 治療剤	-	-	-	-	3	-	1	-			

（注1） 配合剤、パック製剤を含む。

（注2） 2018年度より、個別製品売上のグローバルな管理体系にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上から控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

ネットベース：値引・割戻等の控除後

◆ 一般用医薬品 国内主要品目売上高

(億円)

	グロスベース		ネットベース				
	15年度	16年度	17年度	17年度 Q2 YTD	18年度 Q2 YTD	対前年同期	
アリナミン錠剤類	252	241	235	126	111	△15	△12.1%
アリナミンドリンク類	149	161	115	62	62	0	0.1%
ベンザ類	98	100	71	41	42	1	1.6%
ボラギノール類	45	45	44	21	21	0	1.0%
マイティア類	42	39	37	15	18	2	15.3%
緑の習慣類	11	27	32	16	14	△1	△8.8%

(注1) 武田コンシューマーヘルスケア株式会社の国内売上高

2017年4月1日より、武田コンシューマーヘルスケア株式会社がジャパンコンシューマーヘルスケアビジネスユニット (JCHBU) 事業を承継し、新会社として事業を開始。

(注2) 2018年度より、個別製品売上のグローバルな管理体系にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上から控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。本ページに記載の製品については、2018年度第2四半期において控除方式の変更を行ったため、2018年度第1四半期決算時に開示した2018年度第1四半期および2017年度の数字から、再度組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

グロスベース：値引・割戻等の控除前

ネットベース：値引・割戻等の控除後

◆ 一般用医薬品 国内主要品目売上高（四半期）

（億円）

	17年度（ネットベース）				18年度（ネットベース）							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
アリナミン錠剤類	69	57	64	45	57	△17.5%	54	△5.6%				
アリナミンドリンク類	31	31	32	21	31	2.3%	31	△2.0%				
ベンザ類	10	31	21	9	10	△3.8%	32	3.3%				
ボラギノール類	10	10	13	10	10	0.5%	10	1.5%				
マイティア類	8	8	8	14	9	16.2%	9	14.4%				
緑の習慣類	8	8	8	8	7	△6.9%	7	△10.7%				

（注1） 武田コンシューマーヘルスケア株式会社の国内売上高

2017年4月1日より、武田コンシューマーヘルスケア株式会社がジャパンコンシューマーヘルスケアビジネスユニット（JCHBU）事業を承継し、新会社として事業を開始。

（注2） 2018年度より、個別製品売上のグローバルな管理体系にあわせて、国内の一部製品について、値引・割戻等を個別製品毎に売上から控除して表示している。比較を容易にするため、2017年度の数値についても組み替えて表示している。本ページに記載の製品については、2018年度第2四半期において控除方式の変更を行ったため、2018年度第1四半期決算時に開示した2018年度第1四半期および2017年度の数字から、再度組み替えて表示している。当該組み替えは連結財務諸表に影響を与えるものではなく、また前年度数値の修正を意味するものではない。

ネットベース：値引・割戻等の控除後



武田薬品工業株式会社